

# きのくにコミュニティスクール ～地域が人を育み、人が地域をつくる～

子供や学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠です。「きのくにコミュニティスクール」は、地域や保護者からの応援を基盤としながら、学校・地域・家庭が連携・協働することで、子供の成長を支えていく仕組みです。

## 和歌山県の課題

- ・人口減少の進行
- ・生産人口の減少
- ・県外大学進学率 86.1% (H28 全国1位)

## 教育分野の施策

- ・県立学校の学級数確保
- ・県内への大学誘致
- ・県内企業サマーガイダンス等の実施

## 和歌山県立橋本高等学校・古佐田丘中学校

高校普通科 675名(17クラス) 中学校 120名(6クラス)  
 (平成29年度進学実績 国公立大学 47名 私立大学 361名 専門学校 11名 就職4名)  
 ○平成18年度から、併設型中高一貫教育校 ○平成30年度から、コミュニティスクールを基盤とした中高一貫教育を開始、地域と連携した教育活動を一層充実



### 中高一貫学校地域連携推進委員会

(本校学校運営協議会 委員8名)

- ① 地域活動支援部会 ② 学習支援部会 ③ 学校評価部会

の3つの部会を組織

### 期待される学校像

- ・進路志望を実現できる学校
- ・部活動等に打ち込める学校
- ・地域に貢献する学校

### ① 地域活動支援部会 (生徒の地域活動をさらに活発に！)

#### 中学校 (ボランティア)

- ・世界遺産清掃活動 (丹生都比売神社)
- ・部活動での地域ボランティア参加 (陸上部)

★は、中高一貫学校地域連携推進委員会で協議され承認されたものです。

#### 高校 (地域貢献) 地域貢献活動(アウトプット期)

- ・生徒会ボランティアセンター設置★ (地域の情報収集・生徒に情報提供)
- ・部活動での地域ボランティア参加 (野球・音楽・吹奏楽・科学・ダンス・バトン・新体操・邦楽・数学情報・図書)
- ・なつぽら「夏のボランティア」 (高校2年生 240名 延べ300名 夏季休業中 橋本市内約45の施設)
- ・はしもと東こども食堂★ (毎月第1・3金曜日 子供の居場所づくり・学習支援・遊び相手)
- ・地域安全マップづくり★ (橋本警察署との連携 危険箇所の提示 交通安全指導)

**地域の実情や課題を知り、主体的に地域の未来を考え、行動する！**

地域貢献

・地域で活躍する大人からの学び  
 ・将来に対する具体的なイメージの確立  
 ・思考力、判断力、表現力の向上

ふるさとの未来を託せる子供を育てる

### ② 学習支援部会 (学校の授業では学べないものを学ぶ機会を！)

#### 中学校 地域に出て見聞し、地域の課題を知る(インプット期)

#### ふるさと学習 (ふるさとを学ぶ)

- 1年生：地域の史跡を訪ねる
- 2年生：ふるさと講演・高野山町石道体験学習・丹生都比売神社学習・ふるさと学習発表会
- 3年生：ふるさと講演・高野山町石道体験学習・ふるさと学習発表会

活用  
 地域  
 人材

#### 高校 社会に向かう学び(地域から学ぶ)

- ・人権学習・交通安全学習
- ・職業別学習・消費者、主権者としての学び

学力向上

#### 土曜講座 (土曜日を有効活用し、生徒の学力向上を図ることを目的に、PTAが主催)

中学校 国語 数学 理科

教科書では習わない発展的・実践的な講座

高校 オンラインスピーキングトレーニング★

大学入試改革を受け、英語の発話・会話に慣れ表現方法を身に付け即答力を上げる講座

### ③ 学校評価部会 (従来の学校評議員会の機能を継続)